

令和5(2023)年度 栃木県立宇都宮南高等学校 学校評価に関するアンケート結果報告

I はじめに

本校の教育活動改善に資する資料とするため、全校生徒927名と保護者を対象に10月23日(月)から11月6日(月)にかけて「学校評価に関するアンケート」を実施しました。本年度も多くの保護者の皆様からご回答を頂き、ありがとうございました。自由記述のご意見も多数お寄せ頂き保護者の皆様の本校の教育活動への関心と期待の高さをあらためて認識いたしました。ご要望も数多く寄せられましたが、さらなる改善に向け可能な限り取り組んでまいりますので、今後とも本校の教育活動に対するご理解ご協力を賜りたく存じます。

アンケートの回答状況については次のとおりです。

回答数	生徒	835名(1年: 287名 2年: 267名 3年: 281名)
	保護者	328名(1年: 114名 2年: 103名 3年: 111名)
提出率	生徒	90.1%
	保護者	35%

アンケート結果の分析は、次の点に留意しました。

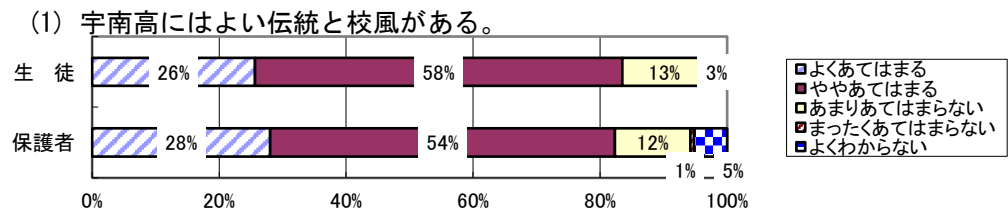
- ① 回答項目のすべての回答状況をグラフ化し、特徴的なことを付記しました。
- ② 「生徒」「保護者」に共通する質問項目については、質問項目を領域ごとにA「学校のイメージ」、B「学習」、C「進路」、D「生活指導」、E「学校行事・部活動」、F「環境・施設」に分類し、両者のデータを並べて掲載しました。
- ③ 「生徒」「保護者」いずれかのみを対象とした質問項目については、個別に掲載しました。

II アンケート結果概要

注:「よくわからない」という回答選択肢は、保護者対象のアンケートにのみ設けました。また、「よくあてはまる」と「ややあてはまる」を合わせて肯定的な評価としました。「あまりあてはまらない」と「まったくあてはまらない」を合わせて否定的な評価とし、各質問項目の回答状況を分析しています。

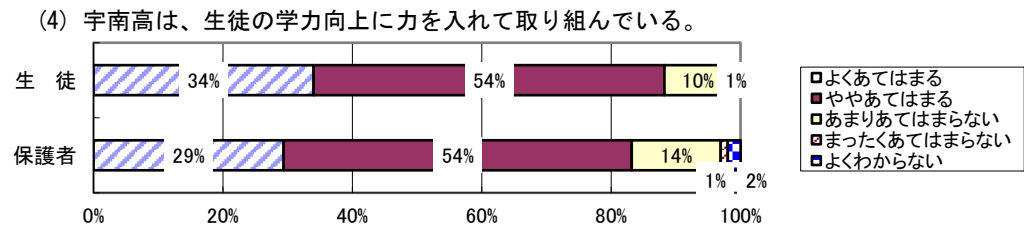
(1) 生徒・保護者共通質問項目

A 学校のイメージについて



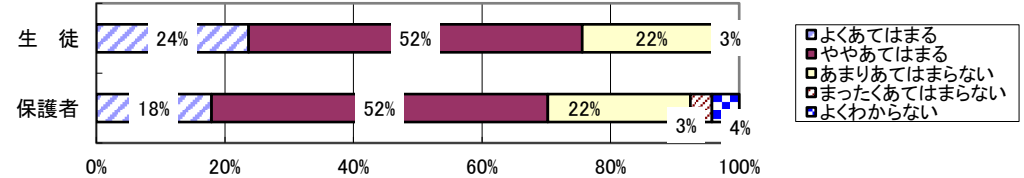
肯定的評価については、生徒、保護者とも昨年度とほぼ同様の結果である。しかし、回答した保護者の20人に1人が「よくわからない」と回答している。学校行事への保護者の参加を促すとともに、学校HP等を通じた教育活動の発信力を高めるなど、学校内外に開かれた本校の教育活動の充実が課題である。

B 学習について



生徒の肯定的評価は88%、保護者は83%で高い水準を維持している。今後も授業を中心に課外や土曜開放(特別講座)も含めて、確かな学力の育成に努めるとともに、ICT機器を積極的に活用するなど学力向上に向けた取組を改善していく必要がある。

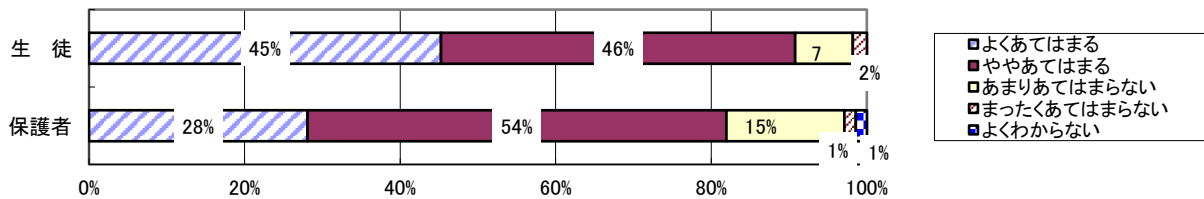
(13) 宇南高は、家庭学習時間の確保について適切に指導を行っている。



肯定的評価は生徒、保護者とも昨年度より低下した。一方で否定的評価の割合が両者とも全体の4分の1を占めている。家庭での学習課題の量や部活動の活動時間が適切であるかを検討し、早急に対策を講じていく。

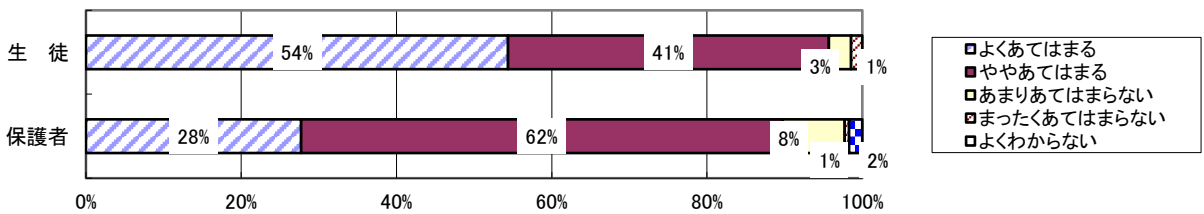
C 進路について

(5) 宇南高は、生徒の進路について適切な指導や情報提供を行っている。



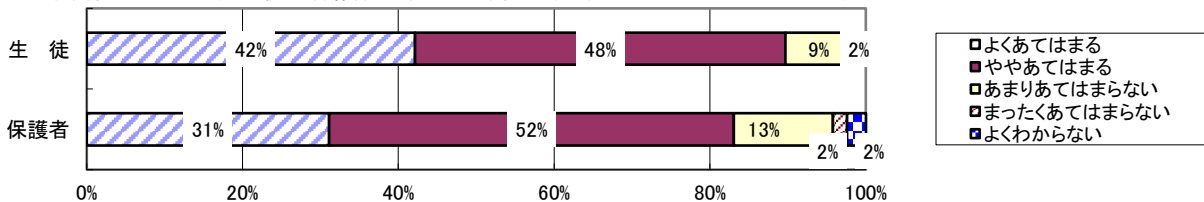
肯定的評価については、生徒は昨年度とほぼ同様の結果だが、保護者については、肯定的評価が昨年度(79%)から3%上昇したなかで、「よくあてはまる」という評価が昨年度(21%)から明らかに増えている。今後も進路に関する適切な指導や情報提供を通して、納得のいく進路実現に努めていく。

(6) 宇南高の生徒は、校則や社会のルールを理解し行動している。



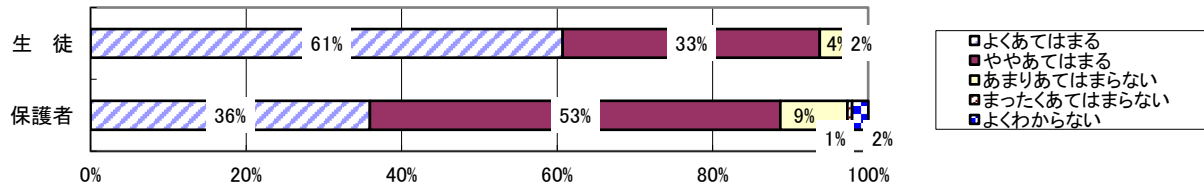
保護者については、肯定的評価、否定的評価ともに昨年度とほぼ同様の結果であった。一方で生徒については、肯定的評価全体の値に変化はないものの、「よくあてはまる」という回答は昨年度(64%)から10%低下した。今後も保護者と連携を図りながら、継続的に指導していく必要がある。

(7) 宇南高の先生は、生徒や保護者の悩みや相談に親身になって応じてくれる。



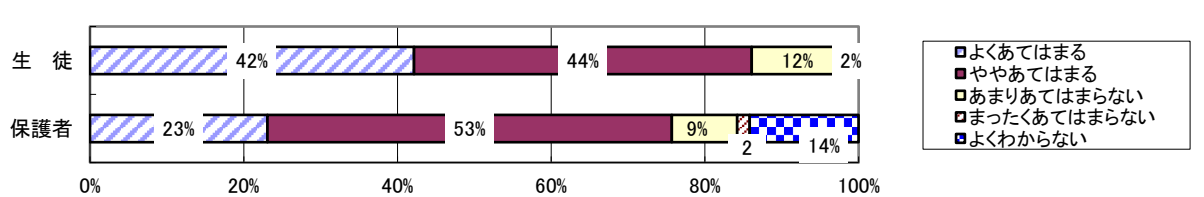
肯定的評価については、生徒は昨年度と同様の結果であるが、保護者の回答では「よくあてはまる」の割合が昨年度(25%)より6%上昇した。一方、生徒10%、保護者の15%が否定的に回答している。今後も保護者と緊密に連携を図り、個人懇談や生徒観察を通して、潜在する生徒の不安や悩みを察知し、適切な指導援助に努めていく。

(8) 宇南高では、遅刻や服装・交通安全に関する指導が適切に行われている。



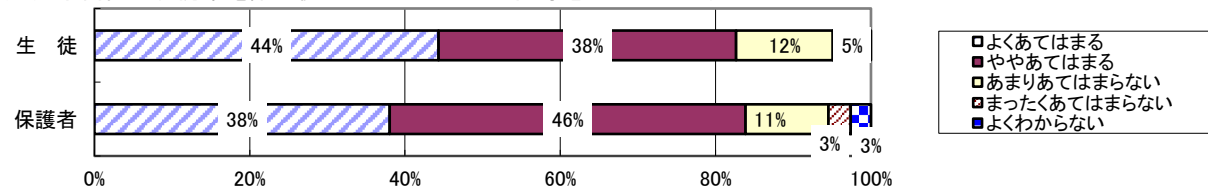
生徒については昨年度とほぼ同じ結果であったが、保護者については昨年度比で肯定的評価が5%減少した。とくに自転車のマナーについてはルールの遵守を徹底すべく、引き続き粘り強く指導していく。

(15) 宇南高では、いじめ防止対策が適切に機能している。



生徒については、「よくあてはまる」という回答の割合が昨年度より10%低下した。保護者についても、肯定的評価が昨年度86%から本年度は78%に下がっている。本校はいじめアンケートを毎月実施するなど防止対策のシステム充実に努めているが、いじめの早期発見に向けて生徒への声かけや言動への目配りなど恒常的な指導が必要である。

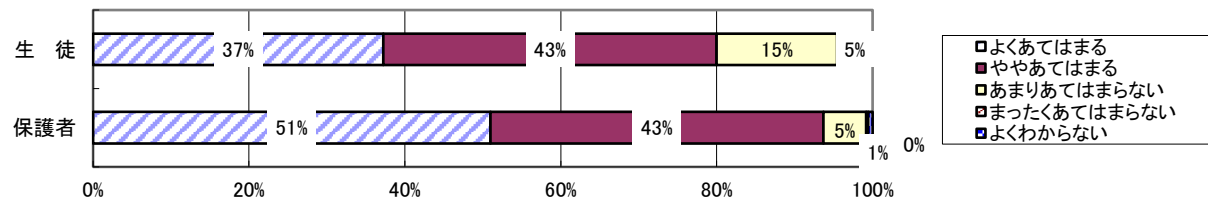
(14) 宇南高は、携帯電話の使用について適切に指導を行っている。



生徒、保護者ともに昨年度とほぼ同様の結果であった。しかしながら、生徒では否定的評価の数値がやや高い結果となった。携帯電話及びスマホの使用についてはマナーだけでなくその機能性の多様さも相まって適切な使用の必要性が一層求められている。マナー遵守とSNS全般の健全使用について引き続き指導の徹底を図る必要がある。

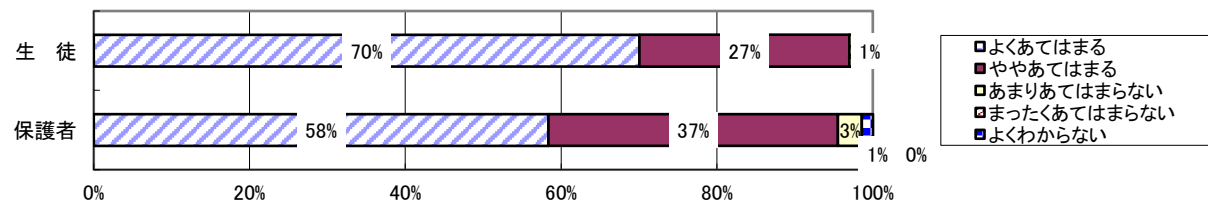
E 学校行事・部活動について

(9) 宇南高の学校行事(宇南高祭・球技大会・マラソン大会等)は充実している。



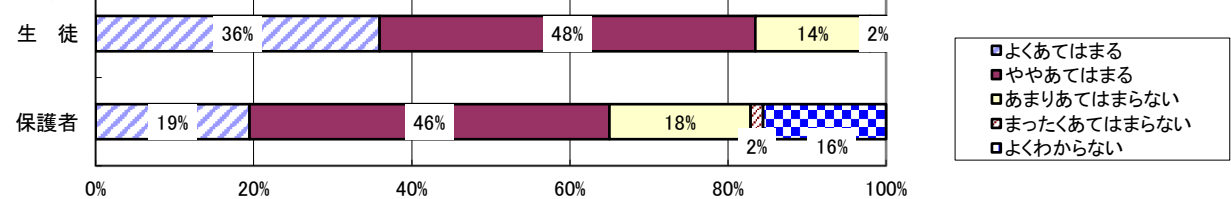
回答状況にここ数年ほとんど変化はみられない。今回も生徒と保護者の回答状況には明瞭な差異が認められる。コロナ禍の収束にともない、本年度の学校行事は今のところ正常に実施できているが、今後も生徒の改善意見を参考にし、行事の在り方を検討していく。

(10) 宇南高では、部活動や生徒会活動が活発に行われている。



本校の部活動の充実・実績は定評あるところであり、きわめて良好な回答状況もこれを裏打ちしている。他校と比べても遜色のないほど活発な生徒会活動も含め、今後も一段の活性化に向けた取組を進めていく。

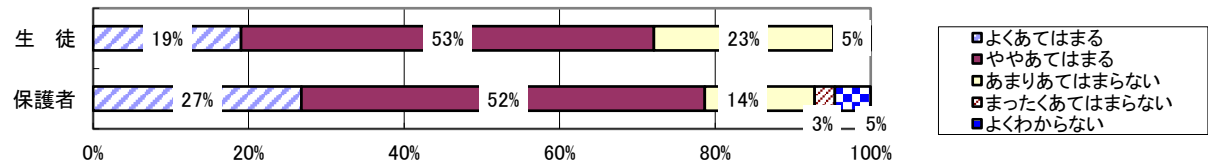
(16) 宇南高では、地域と連携した活動や、国際性を高める活動(インターアクト活動等)を積極的に行っている。



昨年度より回答状況が大きく改善した項目である。コロナ禍の収束にともない、雀宮地区を中心とした地域連携活動やインターアクト活動の台湾研修旅行等、予定通り実施できるようになったことが評価されたと思われる。一方で、「よくわからない」という保護者の回答が16%あり、学校HP等を活用した情報発信を充実させる必要がある。

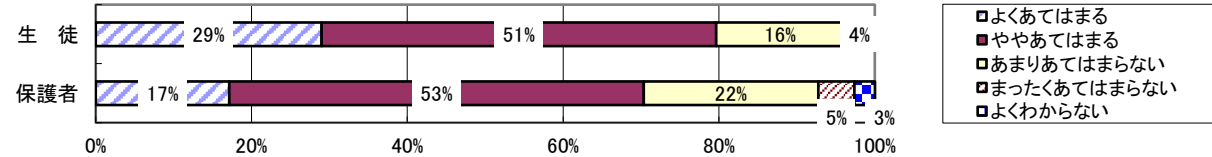
F 環境・施設について

(11) 宇南高は、清掃が行き届いており清潔に保たれている。



昨年度は回答した生徒のおよそ3分の1が「清潔とはいえない状況」と評価した項目である。今回は生徒については、否定的評価がやや低下(32%から28%へ)したものの、好ましくない状況には変わらない。昨年度は9%だった保護者のネガティブな評価が17%に悪化したことも大きな懸念材料である。清掃活動の意義を生徒のみならず教職員も十分認識したうえで、学校を挙げての最優先課題として改善に努めなければならない。

(12) 宇南高は、学習や部活動をする施設・設備が整っている。

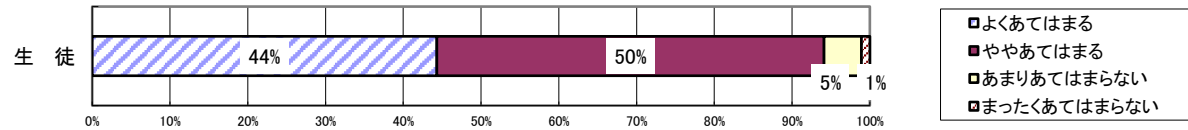


この項目も否定的評価がやや目立つ結果である。保護者に施設・設備の現状を見ていただく機会が復活したこともあり、より厳しい評価が下されたと考えられる。一昨年度より本校ではホームルーム棟のトイレや管理棟外壁等、大規模改修が進んだが、教育活動の充実にはハード面の不断の整備が欠かせない。今後とも県との調整を図りながら改善に向け取り組んでいく必要がある。

(2) 生徒だけへの質問項目

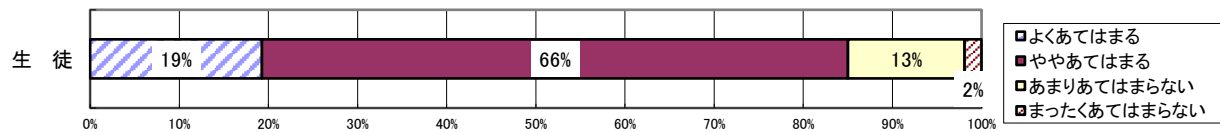
G 自分自身について

(15) 真摯な態度で授業を受けている。



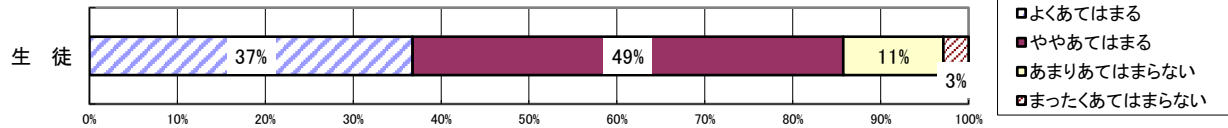
肯定的評価の割合は、昨年度の数値と同様に94%であり、生徒の授業に取り組む意識が概ね高いことが、アンケート結果に反映している。授業は学校の教育活動の中心である。授業をさらに充実させるために、予習・復習等の家庭学習にも意欲的に取り組める生徒の育成に努めていく。

(16) 宇南高の授業の教え方や説明はわかりやすい。



昨年度よりも「よくあてはまる」という回答の割合がやや低下(23%⇒19%)した。したがって否定的な評価の割合もやや高まっている(12%⇒15%)。コロナ禍を契機に整備された情報端末やデジタル黒板等を利活用できる新しい教育環境を整備し、授業改善に取り組んでいく。

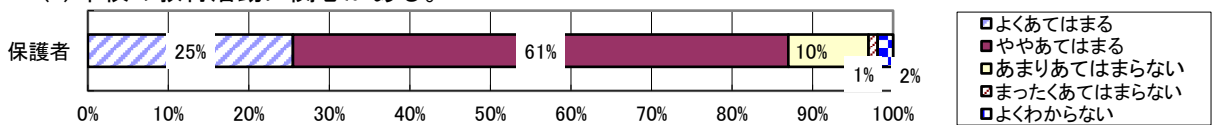
(17) 宇南高に入学してよかった。



学校満足度に関するアンケート項目である。この四年間において肯定的評価の割合は72%から86%へと上昇している。今後とも、学校評価を通じて本校の教育活動、指導体制のさらなる改善に向け、よりよい学校づくりに取り組み、内外に開かれた学校づくりに努めていく。

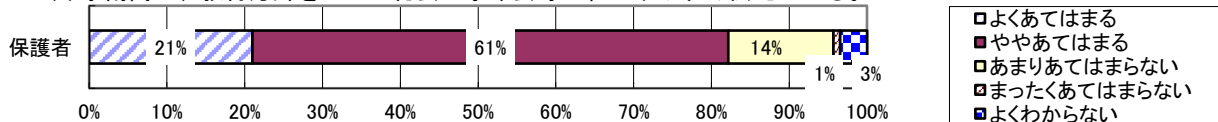
(3) 保護者だけへの質問項目

(2) 本校の教育活動に関心がある。



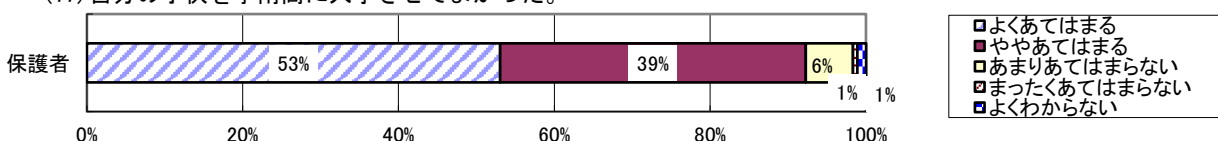
この4年間の肯定的評価の割合は79%から86%へと高まってきている。保護者の高い関心と期待に応えられるよう、本校の教育活動をより一層充実させ、学校内外の諸資源を活用しながら、教育活動の質を高める必要がある。

(3) 宇南高は、教育方針をPTA総会と学年会等でわかりやすく伝えている。



昨年度と同様の評価結果であるが、PTA総会や学年会等で本校の教育活動を「わかりやすく」発信する方法を工夫するとともに、学校HP等の活用を通じて、本校の教育活動を積極的に紹介していくことが不可欠である。

(17) 自分の子供を宇南高に入学させてよかった。



肯定的評価は年々高まる傾向にあり、この四年間で10%上昇した。今後も教職員一丸となって教育活動を充実させ、教育目標の達成を目指していく。